

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く

141



YouTubeで
配信中!

霊仙山を描いた絵図 ―信仰世界へのいざない―

幻の霊山寺

―かつて、坂田郡丹生郷に山号を中霊山と号す「霊山寺」がありました。その規模は、僧坊一八宇(棟)、僧侶等計二九人。七つの別院をもつ大きな寺です。霊山寺は、栗太郡の大菩薩寺(金勝寺/栗東市)の二五箇別院の一つでした。―

これまで、霊山寺があったことを示す文献とされてきた「興福寺官務牒疏」の内容です。この文献は嘉吉元年(二四四一)に書かれたとされ、近江、大和、山城、河内、伊賀に至る二二一カ寺の寺の名前、由来や規模が書かれています。しかし、近年の研究で、この文献は南山城(京都府南部)の椿井権之輔政隆(二七七〇〜一八三七)が創作した偽文書と判明しています。椿井は興福寺に関わる人物で、この文献が興福寺の末寺とされる寺社を詳しく述べていることから、興福寺の勢力誇示のために作られたと考えられます。近江では金勝寺に肩入れし、霊山寺の由緒にも、金勝寺の興隆に関

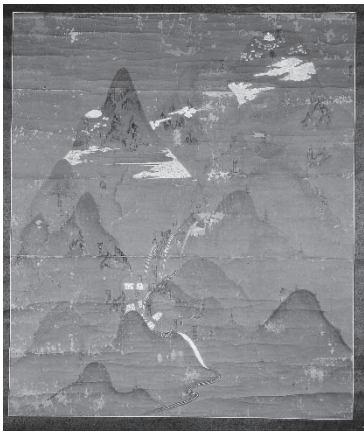
わつた興福寺僧の宣教や願安が登場させ、その別院としています。記述内容を要約すると、霊山寺は役行者が活躍する山林修行の場として修験道の素地が作られ、奈良時代には、白山を開基した泰澄が寺院を開基し、宣教や願安が入山して七精舎や鎮守を整備したということです。基礎となつてきた文献が信頼できないことから、現時点で霊山寺は幻といわざるを得ません。

「霊仙古図」

霊仙山は、江戸時代の地誌に「伊吹、霊山、比良、綿向ハ大山高峯也」(「淡海温故録」一六八〇頃)、「霊山、江陽四高山ノ其ノ一ツナリ」(「淡海木間攷」一七九二)と書かれる近江を代表する名山です。上丹生の個人宅に霊仙山を描いた縦一三五センチメートル、横一一五センチメートルの桃山時代の作と考えられる絵図が伝えられています。枝折方面からはるかに眺めた風景で、丹生川沿いが霊仙信仰の中核であったことを物語ります。阿弥陀ヶ岳

と、釈迦を本地とする経塚山(北霊仙)が大きく描かれています。「御経坪(経塚山)」「釈迦堂」「釈迦御手洗」「阿弥陀堂」「阿弥陀御手洗」などの文字のみで建物は描かれていません。山麓は、一から三の瀧、白水瀧を境に山頂とは趣が異なり、壹門、二門、三門は石垣をともしない「本光坊洞屋敷」などの文字から、かつて宗教施設があったことを示唆しますが、本堂などの霊山寺の伽藍の痕跡はみあたりません。山上は、人里から離れた山中の洞窟などにこもつて坐禅し瞑想する修行の場のようです。また、天台系の「伝教大師学問所」や「伝教大師硯石」がみえますが、奈良の仏教者や役行者、不動明王などの修験道的な名称は全くありません。この絵図は霊仙山そのものを神聖視する曼荼羅世界を描いています。

(歴史文化財保護課)



▲霊仙絵図(個人蔵)

消費生活相談コーナー

相談件数が前年より増加しています!

平成28年度 157件 → 平成29年度 172件

公的機関の名称を使った「架空請求はがき」に関する相談が急増しました。このはがきは50歳以上の女性に送られることが特徴です。

消費生活相談員より一言

「料金の未払いがあり、放っておくと裁判になる」と脅すはがきが届いても、絶対に連絡しないでください。

「おかしいな」と思ったら
一人で悩まず、
まずは消費生活相談窓口へ
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(米原庁舎)

相談専用 ☎52-8088

(受付) 平日9時30分~16時

【米原警察署情報】 米原警察署 ☎52-0110

夏のレジャーを楽しむためのルールを忘れずに!

■ 琵琶湖や河川で泳ぐとき

- ・準備運動はしっかりと
- ・子どもから目を離さない
- ・遊泳区域を守り「危険箇所」の看板がある場所では泳がない

■ 船舶を操縦するとき

- ・ライフジャケットは必ず着用する
- ・出航前には必ず点検
- ・気象状況は常に確認



平成30年市内交通事故数(5月末時点)

件数 41件(-17件)、死者 0人(±0人)

傷者 55人(-18人)

※()内は前年比